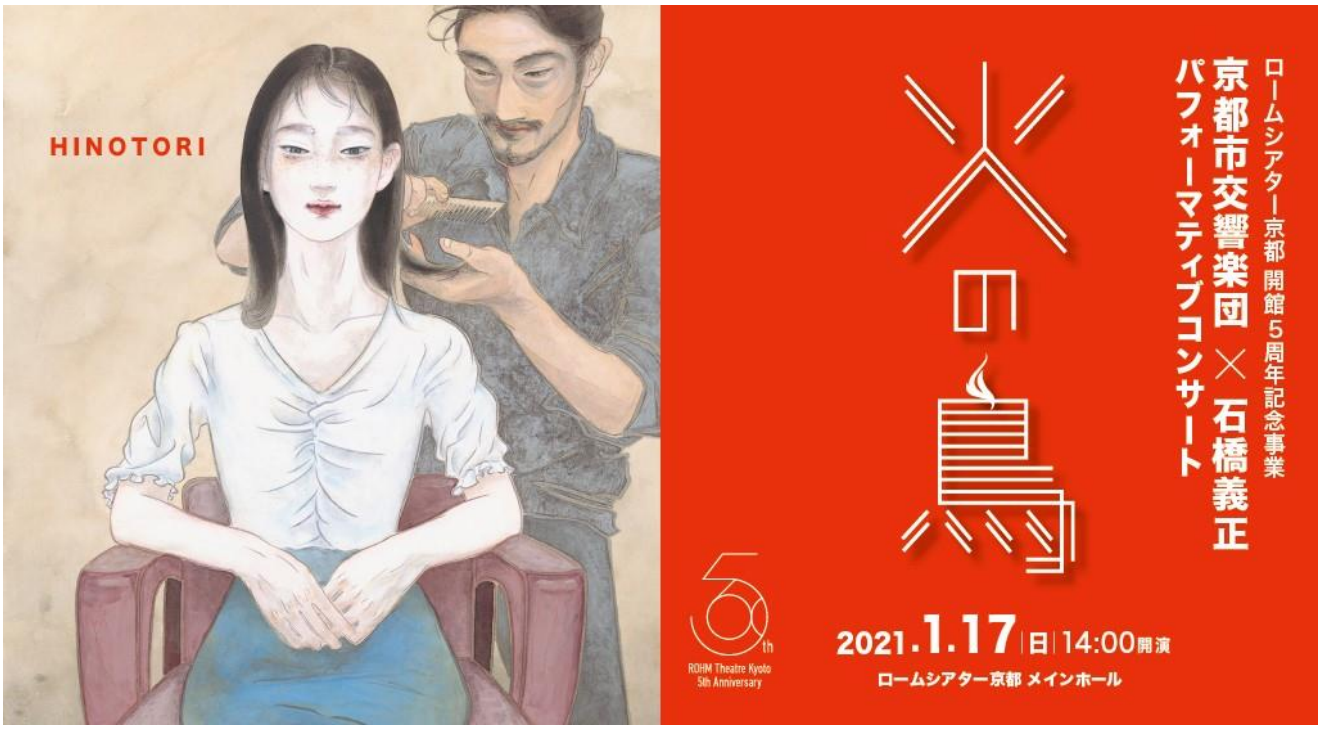
ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

2020（令和 2）年 10 月 29 日 報道発表資料
［本リリース発信元］ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）



Drawing by Rina Matsudaira

多様な演出と多彩な出演者たち―
ここでしか体験できない、新しいオーケストラコンサート！

ロームシアター京都開館 5 周年記念事業

京都市交響楽団×石橋義正 パフォーマティブコンサート「火の鳥」

2021 年 1 月 17 日（日）14:00 開演

ロームシアター京都 メインホール

［本リリースに関するお問合せ先］
ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団） 広報担当：松本、長野
電話：075-771-6051（9:00～17:00） FAX:075-746-3366 E-mail:press@rohmtheatrekyoto.jp

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

■企画趣旨

2021年は、**イーゴリー・ストラヴィンスキーの没後50年**。彼が活躍した20世紀初頭のロシアで産声をあげ、現代の舞台芸術界のみならず、絵画や音楽、ファッションなどあらゆる芸術運動に影響を与えたのが、バレエ団「バレエ・リュス」です。その活動は現代においてなお、伝説的に語り継がれており、現代音楽の祖とも言われるサティやストラヴィンスキーなど、当時最先端の才能とコラボレーションを行ない、総合舞台芸術としてのバレエを築き上げていきました。そのような**バレエ・リュスのスピリットにインスパイア**され、音楽・舞踊・美術が融合した、通常のシンフォニー・オーケストラとは異なるスタイルによる**“パフォーマティブコンサート”**を、ロームシアター京都開館5周年記念事業として開催します。

■本企画のポイント

①京都が世界に誇る才能を結集させて生み出す、新たなオーケストラコンサート

通常のコンサートやオペラ、バレエの演奏にとどまらず、ポップスアーティストとのコラボレーションなど幅広い顔を持つ京都市交響楽団。そして演出を手がけるのは、『オー！マイキー』などの映像作品でも知られ、京都を拠点に活動する映像作家の石橋義正。**舞台美術や映像などを用いた、これまでにない新しいオーケストラコンサート**が、ここ京都を中心に活躍するアーティストたちによって生み出されます。

②多様な演出と多彩な出演者たち

この“パフォーマティブコンサート”では、「火の鳥」を中心とした**5つの名曲に、テーマに沿ったさまざまな演出**を凝らします。

「花火」では、**男子新体操部による、華やかな打ち上げ花火をイメージ**させるようなパフォーマンスを披露します。オーディションで選抜された6名の女性ダンサーと、**特異な身体の柔軟性を持つコントーショニストの茉莉花**が共演する「牧神の午後への前奏曲」。**特殊造形を用い、ヘアメイクショーのようなステージ**が展開する「ボレロ」には、ダンサーのアオイヤマダと、徳井義実〈チュートリアル〉が登場。さらに、歌曲集「シェエラザード」では、**ソプラノ歌手として世界で活躍する森谷真理による歌唱**に加え、舞台美術としての個性的な衣装が効果的に作用します。そして、公演タイトルでもある「火の鳥」では、ダンスや照明が交じり合い、この壮大なコンサートのフィナーレを飾ります。また、**生演奏のオーケストラコンサートでは初となる、深層振動（超低周波）を使用**し、通常の聴覚・視覚以外の新しい体験ができる実験的な試みを行います。

曲目	テーマ	出演者／シーン・効果
ストラヴィンスキー： 交響的幻想曲《花火》	誕生	男子新体操部 【跳躍】
ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲	生殖	ダンサー6名、茉莉花（コントーション）【ダンス】
ラヴェル：ボレロ	破滅	アオイヤマダ、徳井義実 【特殊メイク（錯視）＋ダンス】
ラヴェル：歌曲集《シェエラザード》	渇望	森谷真理（歌）【衣装】
ストラヴィンスキー： バレエ組曲《火の鳥》（1919年版）	復活	ダンサー6名、茉莉花（コントーション）【ダンス＋照明】

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

■公演情報

公演名：ロームシアター京都 開館5周年記念事業
京都市交響楽団×石橋義正
パフォーマティブコンサート「火の鳥」
日時：2021年1月17日（日）14:00開演／13:00開場予定（上演時間：約90分）
会場：ロームシアター京都 メインホール

指揮：園田隆一郎
演出：石橋義正
演奏：京都市交響楽団
振付：藤井泉
出演：森谷真理（歌）、アオイヤマダ、徳井義実〈チュートリアル〉、
茉莉花（コントーション）
池ヶ谷奏、薄田真美子、斉藤綾子、高瀬瑶子、中津文花、松岡希美（ダンス）
花園大学 男子新体操部

ビジュアルデザイン：江村耕市
衣装：川上須賀代
特殊メイク：JIRO（自由廊）
効果：鈴木泰博、安藤英由樹
スタイリング：Ryan Young Soon
ヘアメイク：中野泰子　ヘアメイク指導：南辻光宏

宣伝絵画：松平莉奈
宣伝写真：田中マサアキ
宣伝デザイン：石橋亜樹

曲目：
ストラヴィンスキー：交響的幻想曲《花火》
ドビュッシー：牧神の午後への前奏曲
ラヴェル：ボレロ
ラヴェル：歌曲集《シェエラザード》
ストラヴィンスキー：バレエ組曲《火の鳥》（1919年版）

主催：京都市、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
特別協賛：日東薬品工業株式会社
京都芸術センター制作支援事業

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

チケット料金：
全席指定
S 席 6,000 円、A 席 4,000 円、B 席 3,000 円、ユース S 席（25 歳以下）3,000 円
★5 周年記念セット券対象公演（S 席セット券 9,000 円）※限定 50 セット
※舞台芸術としての伝統芸能 Vol.4「雅楽～現代舞踊との出会い」とのセット券

発売日：
2020 年 10 月 17 日（土）会員先行発売開始／
2020 年 10 月 24 日（土）一般発売開始

チケット取扱：
■オンラインチケット　24 時間購入可　※要事前登録（無料）
https://www.e-get.jp/kyoto/pt/
■ロームシアター京都　チケットカウンター
TEL.075-746-3201　（窓口・電話とも 10:00～19:00／年中無休　※臨時休館日を除く）
■京都コンサートホール　チケットカウンター　TEL.075-711-3231
（窓口・電話とも 10:00～17:00／第 1・3 月曜日休館　※休日の場合は翌日）
ほか、チケットぴあ、e+（イープラス）でも取扱いあり

問合せ先：ロームシアター京都チケットカウンター TEL.075-746-3201

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

■プロフィール

園田隆一郎　Ryuichiro Sonoda

©Fabio Parenzan

指揮者。2006年、シエナのキジアーナ夏季音楽週間『トスカ』を指揮してデビュー。翌年、藤原歌劇団『ラ・ボエーム』を指揮して日本デビューを果たす。同年夏にはペーザロのロッシーニ・オペラ・フェスティヴァル『ランスへの旅』の他、フィレンツェのトスカーナ管弦楽団との演奏会、カターニアのベッリーニ大劇場管弦楽団の演奏会を指揮した。その後国内外のオペラへの出演、オーケストラとの共演を重ね、オペラと交響曲の両分野で活躍する指揮者の一人である。2017年度第16回斎藤秀雄メモリアル基金賞受賞。藤沢市民オペラ芸術監督。

石橋義正　Yoshimasa Ishibashi

映像作家／演出家。1968年京都生まれ。京都市立芸術大学大学院に在学中、英国王立芸術大学（RCA）映画科に交換留学。2000年に異色のTV番組『バミリオン・プレジャー・ナイト』を製作・監督。マネキンドラマ『オー！マイキー』がベルリン映画祭に招待されるなど国内外で高い評価を得る。同時にテートモダン、ニューヨークMoMAなど国内外の美術館で映像作品やライブパフォーマンスの発表も行い、2010年に丸亀市猪熊弦一郎現代美術館で大規模な個展を開催。伝統芸能、ダンス、メディアを融合した舞台の制作、長編劇映画『ミロクローゼ（主演：山田孝之）』の製作・監督など、ジャンルを越えて創作活動を展開する。京都市立芸術大学美術科教授。

京都市交響楽団　City of Kyoto Symphony Orchestra

©井上写真事業所　井上嘉和

1956年に創立し、日本で唯一、自治体が設置し、運営に責任を持つオーケストラ。2015年「第46回サントリー音楽賞」受賞。同年 6 月ヨーロッパ公演で成功を収め、2016年は創立60周年記念国内ツアー等を開催し、平成28年度地域文化功労者表彰を受ける。2017年「第37回音楽クリティック・クラブ賞」本賞等を受賞。2020年4月からは第 13 代常任指揮者兼芸術顧問に広上淳一、首席客演指揮者にジョン・アクセルロッドが就任し、文化芸術都市・京都にふさわしい「世界に誇れるオーケストラ」として更なる前進を図っている。

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

藤井 泉 Izumi Fujii

振付・舞踊家。1977 年生まれ。大阪府箕面市出身。London Central School Of Ballet 卒業後、渡米・渡欧し 10 年以上フリーダンサーとして多種多様の舞台に出演。帰国後、国内唯一の劇場専属舞踊団 Noism1 にて 6 年間所属、重要パートを担う。退団後は素我螺部（スカラベ）を結成。出産後、ダンサーとして東アジア文化都市 2017 開幕式典招聘アーティスト、2018 坂本冬美特別公演による「雨の別れ道」ではデュエット出演など。不定期的におとな・こども・親子向けの WS 講師などを務める。

森谷真理 Mari Moriya

ソプラノ歌手。武蔵野音楽大学卒業、同大学院およびマネス音楽院修了。《魔笛》夜の女王で鮮烈なメトロポリタン歌劇場デビューを飾る。その後、《トゥーランドット》リューでの欧州オペラデビューを皮切りに、リンツ州立劇場専属歌手として数々のオペラ作品に出演するほか、欧米主要歌劇場で活躍。国内では、東京二期会《魔笛》夜の女王、兵庫県立芸術文化センター《夏の夜の夢》ティターニア、日生劇場《後宮からの逃走》コンスタンツェ等を務める。ウィーン在住。二期会会員。

©武藤章

アオイヤマダ Aoi Yamada

ダンサー、モデル、表現者。2000 年長野県生まれ。06 年からダンスをはじめ、15 年に単身で上京。米津玄師「Flamingo」、Nulbarich「VOICE」、夏木マリ「Co・ro・na」、DAOKO「anima」などの MV に出演。紅白歌合戦（NHK）では MISHA のバックダンサー、2020 年ダムタイプの新作パフォーマンス「2020」、パリコレクション「ENFOLD」インスタレーションにてパフォーマンス。FRED PERRY ワールドキャンペーン、ラフォーレ原宿、OPA、松本パルコ、オニツカタイガーなどのモデルとしても活動する。

Photo : Takeshi Hanzawa

徳井義実 Yoshimi Tokui

幼稚園からの幼馴染だった福田充徳とお笑いコンビ・チュートリアルを 1998 年に結成。2000 年に「ABC お笑い新人グランプリ」優秀新人賞を獲得、「M-1 グランプリ」では 2001 年、2005 年、2006 年に決勝進出し、2006 年に大会史上初の“完全優勝”を達成した。「いだてん ～東京オリムピック噺（ばなし）～」（NHK 総合）、「N のために」（TBS 系）「莫逆家族 バクギャクファミーリア」（東映）など多数のドラマや映画に出演し、俳優としても活躍。

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

茉莉花　Marika

5歳から13年間新体操を続け引退後独学でコントーションのトレーニングを始める。2年後に本場モンゴルにて1ヶ月間の修行を経て現在は日本トップのコントーショニストとしてサーカスショーやパーティー、現代アート作品等に出演している。又広告やTV、MVなどのメディアにも多く露出するなど幅広く活動している。

ダンサー

池ヶ谷奏
Kanade Ikegaya

薄田真美子
Mamiko Usuda

斉藤綾子
Ayako Saito

高瀬瑶子
Yoko Takase

中津文花
Ayaka Nakatsu

松岡希美
Nozomi Matsuoka

花園大学 男子新体操部

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

江村耕市 Koichi Emura

美術家。映像作家・演出家の石橋義正氏の多くの作品（「オー！マイキー」「ミロクローゼ」「FASHION CANTATA from KYOTO」など）でビジュアルデザインや美術を担当。アーティストユニット「キュピキュピ」のメンバー（ビジュアルデザイン担当）として、「atmesppai　アトメスッパイ」（2012年高知県立美術館ホール）、「SickeTel – Kyupi Kyupi + Ishibashi　シッケテル – キュピキュピ＋石橋義正」（2010年丸亀市猪熊弦一郎現代美術館）など多くの映像作品やパフォーマンス作品を国内外で発表。嵯峨美術大学芸術学部教授。

川上須賀代 Sugayo Kawakami

ファッションクリエーター。スポーツメーカー在職中、大阪モード学園夜間部に入学。卒業と同時に同社生産企画部に異動。パターンメーキング、生産管理の業務をこなし、2000年に独立。フリーランスとして活動開始、独学で舞台衣裳制作を習得し「動きをデザインする」をコンセプトに見た目の美しさだけでなく、機能的な衣装作りを軸にデザインからパターン・縫製仕上げまで一貫して自ら行う。2002年より劇団四季のステージ衣装を20演目以上携わり、新作歌舞伎、ミュージカル、アイドル・舞台俳優などジャンル問わず多種多様な衣裳制作を手掛ける。2005年よりメンズシャツのプライベートブランド「sugayo」を立ち上げ、伊勢丹をはじめセレクトショップなどに全国展開する。2017年立命館大学大学院経営管理研究科（MBA)経営修士修了。現在、大阪成蹊大学芸術学部准教授。

JIRO

東京藝術大学卒業後、特殊メイクの道に入り、有限会社自由廊を設立。現在では特殊メイク・造形製作にとどまらず、映画、ドラマ、CMなど映像業界をはじめ、広告、イベント、ファッションなど、ジャンルを超えて多方面で活躍中。独自の哲学に基づいた豊かな表現力、確固たる技術力から、特殊メイク・造形＆アート界の改革者として注目を浴び、国内外で評価を得ている。世界70カ国で読まれている『Make-up Artist Magazine』にて「世界の注目アーティスト10人」に選出。2017年、自身初の作品集『Amazing JIRO –SPECIAL MAKEUP-』（出版社：リトル・モア）を発売。

ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）
〒606-8342 京都市左京区岡崎最勝寺町13
TEL 075-771-6051（代表） FAX 075-746-3366
rohmtheatrekyoto.jp

■ロームシアター京都開館5周年記念事業について

2021年1月から3月までの期間に開催する、ロームシアター京都の自主事業を「開館5周年記念事業」として展開します。

ロームシアター京都 開館5周年記念事業

対象事業 ［1月10日（日）～3月28日（日）］

① シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.4 雅楽～現代舞踊との出会い
② 京都市交響楽団×石橋義正 パフォーマティブコンサート「火の鳥」
③ 第354回市民寄席
④ レパートリーの創造　松田正隆作・演出『シーサイドタウン』
⑤ KYOTO EXPERIMENT 京都国際舞台芸術祭 2021 SPRING
⑥ シリーズ 舞台芸術としての伝統芸能 Vol.3 人形浄瑠璃 文楽
⑦ ハンブルク・バレエ団「ベートーヴェン・プロジェクト」

ロームシアター京都　開館5周年記念誌

ロームシアター京都の開館5周年を記念し、ロームシアター京都のこれまでとこれからをまとめた冊子を発行します。
撮りおろし建築グラビアや過去公演の記録写真、リニューアルの経緯レポートや5年間の各種データ類、参加アーティストからのメッセージなど盛りだくさんのコンテンツを濃縮した、永久保存版の1冊です。

発行｜2021年1月10日(予定)
仕様｜ハードカバー208ページ
料金｜2,500円＋消費税（予定）
ロームシアター京都総合案内、京都岡崎　蔦屋書店等で販売予定(料金未定)

ロームシアター京都　開館5周年記念ロゴ

SINCE 1960/2016
2021年1月10日に迎えるロームシアター京都の開館5周年は、京都会館のオープンから60周年の期間にもあたります。
リニューアル間もない新しさと同時に歴史も感じられるロームシアター京都という場を体現するため、「5」の数字の背景に「60」を潜ませロゴマークとしてまとめています。